



日華化学株式会社

2019 年 12 月期第 2 四半期決算説明会

2019 年 8 月 7 日

イベント概要

[企業名]	日華化学株式会社		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2019年12月期第2四半期決算説明会		
[決算期]	2019年度第2四半期		
[日程]	2019年8月7日		
[ページ数]	25		
[時間]	10:00 – 10:41 (合計：41分、登壇：35分、質疑応答：6分)		
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル2階 第2セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)		
[会場面積]	145 m ²		
[出席人数]	30名		
[登壇者]	4名		
	代表取締役社長	江守 康昌 (以下、江守)	
	取締役執行役員 管理部門長	澤崎 祥也 (以下、澤崎)	
	執行役員 戦略企画本部 本部長	佐谷 義寛 (以下、佐谷)	
	戦略企画本部 副本部長	松嶋 章雄 (以下、松嶋)	

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



登壇

司会：それでは定刻となりましたので、ただ今から日華化学株式会社様の 2019 年 12 月期、第 106 期第 2 四半期決算説明会を開催いたします。

まず最初に同社からお迎えしております、4 名様をご紹介します。代表取締役社長、江守康昌様。取締役執行役員 管理部門長、澤崎祥也様。執行役員 戦略企画本部本部長、佐谷義寛様。戦略企画本部 副本部長、松嶋章雄様。

本日は代表取締役社長、江守様からご説明いただきます。ご説明いただいた後、質疑応答の時間を取らせていただきます。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

これからも、ずっと、輝く未来。
Activate Your Life

NICCA CHEMICAL CO.,LTD.

経営環境 ('19/2Q)



- ✓ 雇用環境は改善傾向持続
- ✓ 設備投資マインドも堅調を維持
- ✓ 一方、通商問題の影響、中国経済減速等懸念材料あり

➡ 景気先行き不透明感強い

- ✓ 環境規制・化学品規制動向、金融資本市場変動、原油価格上昇等

➡ 引き続き注視が必要な状況

2019年度 = 中期経営計画「改変期」最終年度
全社経営戦略のもと、強固な経営基盤の構築を図っている

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

3

江守：皆様、こんにちは。いつも大変お世話になっております。日華化学の江守でございます。今日は第 2 四半期、6 カ月間の半期の決算発表ということで、内容につきましてご説明申し上げたいと思います。

まず当社を取り巻く環境でございますが、為替につきましては 110 円近辺からだんだん円高傾向に移ってきておりました、ここ最近はお承知のとおり、かなり為替が動いてきておりますけれど

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

も。この6カ月間も後半にはやはり円高傾向、それからアジア通貨がかなり安くなっておりまして。我々もアジアで結構商売をやっておりますので、ドルに対してだけではなくてアジア通貨に対しても円高になってきている状況でございます。

日本の雇用環境、特に福井の雇用環境は非常にひっ迫しております。今、東京に次ぐ有効求人倍率が第2位でございます。あまりこれは名誉なことでもないと思っているんですけども、2.0に近い今、有効求人倍率になってきておりまして。非常に人手不足という部分がございます。

さらに設備投資も、これは堅調でございますけども、皆様ご案内のとおり通商問題、これによりまして中国経済が減速傾向でございます。

したがいまして現状景気は回復に向かっておりますが、先行きは不透明感が強いのが今の実情ではないかと思っております。

一方、化学品を取り巻く環境はさらに厳しい状況でございます。例えば中国を含めた、特に中国ですね、環境規制。韓国なんかもそうですけども、非常にVOCという、いわゆる空気中のそういった化学物質を出さないとか、排水をきっちりとやるとか。そういった環境規制が今までは結構、中国の国内の中小企業を中心として非常に緩やかな状況だったんですけども、最近では日本を上回る中国はそういった環境規制をかけてきております。

その影響がいろいろ出てきておりまして、化学品の規制とか工場の閉鎖とか、さらにはこの春には中国で爆発事故が立て続けに起きました。その影響もありまして、政府は非常に関係企業に対して強い規制をかけてきている状況でございます。

タンカーの襲撃事件等々もございまして、原油価格につきましても乱高下が続いていた時期もございました。引き続き、注視が必要な状況でございます。

これがナフサ価格にも出てきておりまして、おおむね下がってきておりましたが、やはり後半に向けてこのナフサ価格も上昇に転じています。

この為替レートは、下にいけば円高が進んでいるということでございます。

2019年、我々にとってみると中期経営計画、改変期最終年度となっております。会社の経営戦略の下、強固な経営基盤の構築を図る最終年度ということでございます。

我々は2025年までに長期計画を発表いたしました。2025年に売上高800億円を目指して、世界中で最も信頼できるイノベーションカンパニーを目指して、いこうということをスローガンに展開いたしました。そこで三つの中計に分けております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



第1発目の中計、2016年から2019年までがここにある改変期ということで、ここで売上500億円を目指していこう。それからいろんな会社の改革、それから投資を積極的に行っていまして、次の中計、すなわち2020年から2022年までが成長期。そして2023年から2025年までが飛躍期という、三つの中計に分けておりました。

それに対して我々、この2019年は設備投資の減価償却もありますし、また働き方改革の人事制度の大きな改革もございましたし、いわゆる会社の変革を、利益はそんなに大きくは出ないけれども、この2019年で集中的にそれをやっていこうという、いわゆる我慢の中計というんでしょうか。これを当初から目指していたわけでありまして。

その最終年度が2019年度ということで、強固な経営基盤の構築を図っていこうというものであります。

業績 (連結)

(百万円)	18年12月期 第2四半期	19年12月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	24,752	23,649	△1,102	△4.5%
営業利益	1,213	770	△442	△36.5%
経常利益	1,266	681	△584	△46.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,829	329	△1,500	△82.0%

さて、そういう中で今申し上げました状況等々がございまして。それプラス、後ほどまた説明いたしますけれども、当社は久しぶりに減収減益という結果を発表させていただくことになりました。

売上高につきましては4.5%の減、営業利益も経常利益もそれぞれ36.5%、46%の減。ただこの最終の純利益、この82%減と、これは台湾の土地を昨年売却いたしまして、非常に大きな特別利益が入りましたので、その分を差し引きますとここまで大きなマイナスにはなっておりませんが。

そういう意味で、いずれにしましてもこの営業利益、経常利益は減収減益になりました。内訳につきましては、後ほどまた詳しくご説明をさせていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2019年12月期 第2四半期決算概要

減収減益

売上高（化学品△0.6%、化粧品△17.4%）

- ・山田製薬製造受託事業 大口顧客の市場在庫の影響で大幅減収（約12億円）
- ・米中貿易摩擦による中国市況減速の影響
- ・'18-'19シーズン暖冬による繊維製品在庫過多
- ・アジア通貨安・円高により減収（約3.7億円）
- ・中国原料調達困難により情報記録紙用薬剤 減収
- ・化学品/ベトナム、バングラ、大智好調、化粧品/デミヘアケア拡販もカバーに至らず

（約7.5億円）

営業利益（化学品△29.5%、化粧品△20.9%）

- ・売上高減による利益減
- ・中国環境規制強化の影響による調達コスト増等

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

6

これが内容でございます。この1ページが、我々のこの第2四半期がなぜ減収減益になったかをご説明申し上げるページでございます。

まずは今まで非常に好調だった山田製薬の製造受託事業でございますけれども、大手のお客様が市場在庫が非常に大きく余ってきていると。在庫が過多になっているということで、今までどんどん、どんどん拡大をしていったものがピタッといったん止められました。この影響が12億円ございました。減収分、ほとんどがこの影響になっているということでございます。

実は我々、もともとこれは想定しておりました。ここまで一本調子で上がってきました、このOEM。化粧品は寿命がございますので、そんなに長々とこういった化粧品の受託事業は続かないと思っておりました。あらかじめ予算では低く見積もっておりましたけれども、その予測を上回る受注減になりました。これが昨期から見ますと、非常に大きなマイナスとなっております。

先ほどちらっと申し上げましたが、米中貿易摩擦による中国市場の低迷の影響。例えば車の販売台数を見ましても、軒並み2桁減でございます。さらに拍車をかけたのが昨期、非常に暖冬だったんですね。おとしは福井に1.5メートルの雪が積もるぐらい、大変寒い冬だったんですけども、今年というか前冬は非常に暖冬でございました。

ほとんど雪も降らず、世界的に暖冬でございまして。この暖冬になりますと繊維製品、例えばダウンジャケットであったり、防寒具であったりヒートテックであったり、そういったものが売れないんですね。売れないと在庫で残ると。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

在庫で残ると、今度は新たに加工に入れないということになっております。これが繊維業界、我々の売上の半分は繊維用の界面活性剤で占めておりますので、この部分が効いたと。

さらにこれは冒頭に言いましたが、アジア通貨安ですね。円高による減収、3.7億円と。それから中国の原料調達が先ほどのお話で困難になりました。さらに値上げが非常に大きく、廃棄物なんか今まで、例えば塩の廃棄物を海に捨てていっても大丈夫だったんですね。

これは日本でも大丈夫なんです。もちろん海水は塩ですから、海の近くの処理をしても全然問題ないんですけども、中国はもう一切そういった廃棄物を処理することはまかりならんという法律になりました。それによるいわゆる処理の費用がものすごくなぎ上りになってしまっています。

そういったちょっと細かい話で恐縮だったんですけども、原料の調達困難であったり、それからコストアップになったりということで。特に紙用の情報記録紙用の薬剤が極端な減収になったということがございます。

一方でバングラデシュだとか、ベトナムとか、それから大智化学産業とか、OEMのほうは受託事業は悪かったんですけども、我々本業のデミ化粧品、これは非常に拡販になりました。

しかしながら、今申し上げました全体的なネガティブインパクトをオーバーカムすることができずに、売上高につきましてはこういったかたちになりましたし、利益につきましても売上高減による利益減。これが一番大きなポイントでございますけれども、減収になったということがございます。

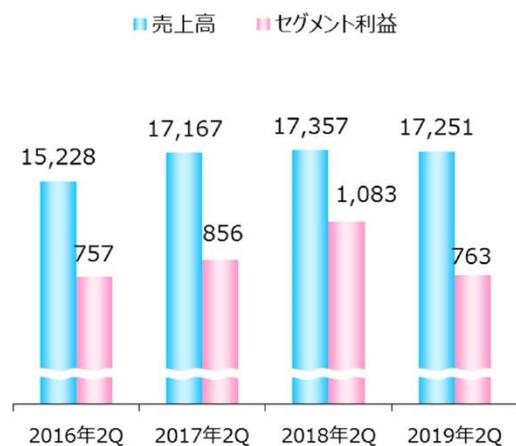
あとはこれをご覧いただければ、今申し上げたことがグラフで載っておりますのでご参照いただきたいと思っております。利益面でも申し上げましたとおりでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

化学品セグメント

○連結業績（百万円）



○連結売上高

	18年2Q	19年2Q	増減額	増減率
日本	7,121	7,160	+38	+0.5%
グレートチャイナ	5,201	4,993	△207	△4.0%
その他アジア	4,269	4,393	+123	+2.9%
北米	765	705	△60	△7.9%
計	17,357	17,251	△105	△0.6%

※為替影響 △339百万円 対USDレート差 ¥0.97の円安
(2018: ¥109.14 2019: ¥110.11)

○当期の概要（前年比）

- ▶ 国内／（+）業務用クリーニング薬剤 販売堅調
（+）大智化学産業 売上好調
（-）中国原料調達困難により情報記録紙用薬剤 減収
- ▶ 海外／（+）ベトナム・バングラ（香港）市場開拓により好調
（-）広州 市況厳しく減収減益
（-）対アジア通貨円高による減収減益
- ▶ 国内外共通／（-）'18-'19暖冬による繊維製品市場在庫過多
→ 繊維加工減の影響受け

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

9

もう少し詳しく見ますと繊維用の、特に中国が厳しかったわけなのですが、例えば業務用のクリーニング関係ですね。例えばインバウンドを中心とした、ホテルのシーツだとかタオルを洗うリネンサプライというのがあるんですけども、これなんかは絶好調でございました。

それから大智化学産業、これは日韓の半導体のインゴットをカッティングするクーラントという薬剤なのですが、ここも前半は好調。ただし後半にかけて半導体の需要が若干減ってくる可能性がありますし、日韓問題ですね。これがボディブロー的に効いてくる可能性もあるということで、前半戦は良かったんです。

中国原料の調達難、これは今申し上げました。ベトナム、バングラデシュが非常に好調ということで、中国での加工が今、どんどんベトナム、バングラデシュ、それからカンボジア、そういったところに進出していっております。

その中でも特に今進出しているのがベトナムでございます。中国よりも人件費が比較的安いと、しかも人の質が素晴らしいということでもありまして。さらに日本とベトナムのFTAがありますし、また中国・米国の貿易摩擦によりまして、ベトナムで縫製したものがアメリカに出れば関税はほとんどかからないということで、中国企業がどんどん今、ベトナムにシフトして、それでアメリカに一部送っている状況でございます。

ですからこのベトナム、バングラデシュはこれからさらに、この中国の加工がシフトして行って、我々伸びていこうと見込んでおります。

サポート

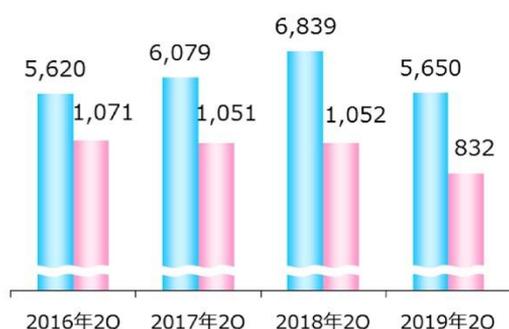
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

広州、ここは今の話じゃないのですが、中国関係で非常に厳しくなりました。対アジア通貨が円高でございませう。そんなこんなで、化学品のセグメントにつきましては、このような結果となりました。

化粧品セグメント

○連結業績 (百万円)

■売上高 ■セグメント利益



○連結売上高

	18年2Q	19年2Q	増減額	増減率
日本	6,077	4,934	△1,143	△18.8%
海外	762	715	△46	△6.1%
計	6,839	5,650	△1,189	△17.4%

※為替影響 △34百万円 対USDレート差 ¥0.97の円安

(2018: ¥109.14 2019: ¥110.11)

○当期の概要 (前年比)

- ▶ 国内 / (+) 業界は伸び悩みもヘアケア製品拡販でシェア伸長
新商品発売により全体では堅調
2Qのみではヘアカラー、スタイリング剤もシェア伸長
(-) 山田製薬 製造受託事業 大幅減収減益 (大口顧客の市場在庫の影響)
- ▶ 海外 / (-) DEMI KOREA 市場環境の影響を受け微減

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

10

化粧品ですけれども、これも重複いたしますが、やはり山田製薬の受託事業ですね。これが大幅に減収と、12億円の影響を受けたわけでございます。

それから日韓の問題で、今まで一本調子で伸びてきました DEMI KOREA ですが、ここも実はデミのカラーを使っているから、韓国製のカラーよりもデミカラーを使ったカラーのほうが2割、3割高いですよ。しかし品質が良いですからという看板を美容室の外に出していたんですね。

それで1度施術をしていただいたお客様は、やはり韓国製のカラーとは全然違うねということで、我々のカラーをご指名いただいてきて、この DEMI KOREA はどんどん伸ばしてきたんですけども。前半戦はそんなに大きくは響いておりませんが、ここへきてやはり日本製のものは非常に厳しい目で見られまして、美容室の棚からうちの製品を片付けて、後ろに置くという状況ですね。

ですから業務用につきましては、これは何を使っているか分かりませんから我々のものを、品質の良いものを使っていたらいいんですけども。例えば店販といたしまして、そこに来たお客様に当社のヘアケア製品を買って持って帰っていただくと、こういったものに関してはかなり影響が出てきておりまして。これは前半よりも後半戦に影響が出てくる可能性が高いなと思っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

今まで竹島の問題だとか、いろんな問題を我々も経験しております、一時的なこういった行動じゃないのかなとは思っていたんですけども、今回はちょっと長引くなど。そして今回はちょっときついなという感覚をもっております。そういう意味では後半にかけて若干、懸念をしているということでございます。

特別損益の概要（連結）

(百万円)	18年12月期 第2四半期	19年12月期 第2四半期	増減額	増減率
特別利益	3,774	318	△3,455	△91.5%
特別損失	3	79	+75	+1955.8%

◇特別利益

- ▶ 負ののれん発生益
- ▶ 退職給付制度終了益
- ▶ 補助金収入

百万円

23
251
33

◇特別損失

- ▶ 投資有価証券評価損
- ▶ 減損損失

百万円

58
15

確定拠出年金制度への移行

特別利益、特別損失ですけれども、これは先ほど言いましたように昨年は特別利益、37億7,400万円という、これは土地の売却益が出ましたので、こういった大きな利益は今年はないと。ただこの退職給付制度の終了、これは確定拠出に移行いたしましたので、この分の特別利益が出ています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結キャッシュフロー / 主な経営指標

(単位：百万円)

連結CF	18年12月期 第2四半期	19年12月期 第2四半期	増減額
営業CF	1,068	-889	△1,957
投資CF	809	47	△762
財務CF	-2,453	-1,206	+1,246
指標	18年12月期 第2四半期	19年12月期 第2四半期	増減
ROA(営業利益)	4.4%	2.8%	△1.6%
ROE(当期純利益)	18.9%	3.3%	△15.6%
EBITDA	2,181	1,704	△476
財政状態	18年12月期 期末	19年12月期 第2四半期	増減額
期末現預金残高	9,234	5,540	△3,693
有利子負債	17,881	18,400	+518
自己資本比率	35.6%	37.0%	+1.4%

※ROAは総資産を1/2、ROEは株主資本を1/2にて算出しております。

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

ハイライト

■連結CF_19年第2四半期

●営業CF - 889

▶利益の調整	
・税前利益	+920
・減価償却費	+929
・退職給付負債	-248
▶運転資金 - 1,249	
・売上債権 減	+401
・棚卸資産 減	+282
・仕入債務 減	-1,933
▶その他	
・法人税等の支払	-767
・消費税の支払	-143

●投資CF +47

・有形固定資産の取得	-1,404
・定期預金の純減額	+1,515

●財務CF - 1,206

・配当金の支払	-907
・借入の増加	+530
・台湾株式追加取得	-818

主に山田製薬

■指標

▶ROE減少：前期 台湾土地売却利益に伴う当期純利益発生

12

キャッシュフローですが、ここも非常に今回は変わったというか、きわめて異例のキャッシュフローになってきております。これはひとえにこの仕入債務が減った、19億円の仕入債務が減ったというところが大きくこのキャッシュフローに影響いたしております。

なぜこうなったかということなのですが、先ほどの山田製薬ですね。これは非常に速いサイクルで実はキャッシュを、売掛金を回収しております。一方で仕入れにつきましては若干余裕を見た仕入れをいたしております。

今回、大きく売上高が減ったことによりまして、仕入債務につきましての前回までの、前回というか去年までの仕入債務につきましてはお支払いする。そして今年に入って売上が落ちているということがございまして、この仕入債務の大きなマイナスがキャッシュフローに響いてきているということでございます。

これはきわめて異常な状況でございますので、私はそんなに大きくは気にはしておりませんが、1年間あるいは来年には、大きくこのキャッシュフローは改善に向かうと思っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2019年度上期 トピックス ①

環境対応新技術・新製品ローンチ (2月)

- フッ素フリー系耐久撥水剤
「ネオシード」新製品 2 品
撥水性1.5倍
熱転写ラベル接着性 2 倍
- DMFフリー系ウレタン樹脂「エバファノール」新製品
アパレル素材への透湿防水付与



ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

13

トピックスを少しご紹介させていただきます。上期に環境対応新製品、新技術ということで、主にこの二つの製品をローンチいたしました。

一つがフッ素を使わない、フッ素フリーの耐久撥水剤でございます。これは環境に配慮した製品ということで、非常に好評でございます。

さらにこのウレタン樹脂というのは、ほとんど溶剤で溶かして塗って、例えば皆様のレインウェアなんかはこういったウレタン樹脂が塗られているんですね、裏に。そうすると水が入ってこないという加工だったり、それから水蒸気は出るんですけども水は弾くという、こういった加工がございます。

このウレタン樹脂、ほとんど溶剤系なんですけれども、当社は水系でやっておりまして。これが非常にうけております。

ヨーロッパがこの DMF という溶剤を 2022 年に全廃いたします。そうなってくると水系、あるいは非溶剤系でやらなきゃいかんということになりますので、我々の市場が一気にこの 2020 年から 2022 年にかけて、大きく飛躍するということでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2019年度上期 トピックス ②

鹿島工場 二期工事完了 (5月)

鹿島工場（茨城県神栖市）にて、第2工場の建設および倉庫・事務棟などを拡張する二期工事が完了。

- ① 生産機能集約による合理化・効率化
- ② 重要戦略であるウレタン事業の国内増産体制の確立
- ③ 新規基盤事業創出のためのサプライチェーン工場の構築

投資額：約36億円
建築面積：3,580㎡（約1,170坪）
延床面積：6,190㎡（約1,880坪）



ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

14

その水系ウレタンを生産するために、鹿島工場の第2期工事を完工いたしました。5月に完工したということでございます。

これはウレタン機能だけではなくて、例えばその他ポリエステルだっりの増産体制をここで確立したということでございます。

繰り返しになりますけれども、我々、2020年とか2021年を見ているわけではなくて、もっと先の2022年。先ほど言いましたヨーロッパの規制がきちりとかかったときには、我々も本当に分かり切れないぐらいの注文が入ってくる可能性がきわめて高いということで。今、第1工事なのですが、第2次増設ということも既に視野に入っているということでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2019年度上期 トピックス ③

キャタライザー型脱墨剤「佐々木賞」受賞（7月）

当社が開発したキャタライザー(触媒)型脱墨剤により近年増加するUV硬化型インク使用の古紙(雑誌・パンフレット等)を世界で初めてリサイクル可能に。

■評価ポイント■

- ① 界面科学と触媒科学の融合で革新的脱墨剤を開発
- ② 古紙リサイクル率UP、森林資源の保全にも貢献
- ③ 国内製紙業界での脱墨剤シェアNo.1へ

佐々木賞とは・・・

学術研究団体「紙パルプ技術協会」が主催する、明治から昭和にかけて業界に貢献した実業家の名前に因んだ歴史ある賞。紙パルプ技術の進歩発展のため、毎年、技術開発・研究開発により顕著な成果を収め業界に貢献した個人または企業に贈られている。



授賞式の様子
右：紙パルプ技術協会 山崎和文理事長
左：当社 取締役常務 片桐

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

15

キャタライザー型脱墨剤が佐々木賞という業界賞をいただきました。これは新聞紙は全てリサイクルできているんですけども、雑誌だとかパンフレットが入りますと、これはUV硬化インクで、なかなか古紙のリサイクルができなかったんですね。

当社のこの脱墨剤を使いますと、こういった雑誌とかパンフレットのようなきわめて今まで取り除けなかったようなインクが取り除けるようになりまして。脱墨のコスト、それから効率が飛躍的に上がったということで、業界革新賞に近いこの佐々木賞を頂戴いたしました。これからまた楽しい製品でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2019年度上期 トピックス ④

「DiaLumie®」が恐竜博物館の演出に採用（7月）

ナノダイヤモンド系透過型スクリーン「DiaLumie®」（ディアルミエ）が
福井県立恐竜博物館 令和元年度 特別展の演出の一部として採用

■「DiaLumie®」の演出特徴■

- ① プロジェクターからスクリーン上に映し出される高鮮明・高コントラストな映像
- ② 幅8m以上に渡る大面積スクリーンを使用
- ③ 標本とアニメーションの融合で、恐竜の魅力を最大限に引き出すサポートを実現

○特別展「恐竜の脳力」

会期：2019年7月12日（金）～2019年10月14日（月・祝）

会場：福井県立恐竜博物館 福井県福井市勝山市村岡町寺尾51-11

主催：「恐竜の脳力」実行委員会（福井県立恐竜博物館・福井テレビ）

DiaLumie.



ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

16

ディアルミエという、これはナノダイヤモンドをフィルムにコーティングいたしまして、透明なんですけれども画像が映ると。こういう技術を当社は開発いたしました。このディアルミエが、これは世界の3大恐竜博物館といわれているらしいのですが、福井の恐竜博物館の演出に採用されましたね。まさに今、特別展でやっております。

もしご興味のある方、あるいはご息がいらっしゃいましたら福井にお越しいただきまして、恐竜の、この下にありますような向こうに展示品があって、鏡にいろんな画像が映ってくるという、非常にファンタジーのような見せ方になっておりまして。ぜひ一度、ご覧いただければと思っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2019年度上期 トピックス ⑤

デミコスメティクス 新ブランド

「Treneejo(トレネージョ)」(4月)



長くカラーを楽しんでもらうために、カラーからホームケアまで、トータルでケアできるアイテムラインナップです。

DEMI

「ELEVATE(エレベート)」(5月)



ビジネスマンをサポートする**当社初のメンズブランド**。毛穴汚れを根こそぎ洗い流すシャンプーや、キープ力が選べられるスタイリング剤は「清潔感」をさらにアップ。

「FUSIONIST(フュージョニスト)」(6月)



独自の技術で髪をいたわりながら、**ダブルレイヤー処方**でよりきれいな色、特徴的なツヤ感を表現するヘアカラーブランド。

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

17

先ほどデミ コスメティクス、非常に調子が良いということでございましたが、三つの新製品をローンチいたしました。

一つはトレネージョという、これは特に 20 代前半の方々のカラーが今、非常に明度の高いカラーになってきております。そうなってくると髪の毛がちょっと傷み気味になってしまいますので。それからカラーって結構、退色するんですね。赤にしてもすぐ黄色になっちゃうということで、長くカラーを楽しんでもらうためのホームケアですね。これを新たに発売いたしました。

それから男性用のメンズブランドですね。ビジネスマンをサポートするメンズブランド、特に毛穴汚れを根こそぎ洗い流すシャンプー。それからキープ力が選べるということで、これは 1 回付けると風速 30 メーターぐらい吹いても髪型が変わらないようなジェルとかですね。メンズのおしゃれをサポートする、そういうラインナップを。当社はこのメンズのラインナップをこういうかたちで出すのは初めての試みでございますけども、ぜひ皆様、よろしければお使いいただければと思っております。

それから 3 番目のこれが今、ものすごい勢いで売れておまして。フュージョニストというヘアカラーでございます。独自の技術で髪をいたわりながら、ダブルレイヤー処方でよりきれいな色、つやを表現するヘアカラーブランドということで、通常のヘアカラーよりもさらに一步、プレミアム感があるヘアカラーですね。これが今、大変うけているということでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2019年度上期 トピックス ⑥

NIC来訪者数8,700人超（7月31日現在）

- 2019年上期来訪者数：1,847人／249件
- オープンイノベーションの促進：大手メーカー、商社などとの協業開始
- 6月 日本初「ZDHC」主催セミナーをNICで開催
- 3月 2018年度「日本建築大賞」受賞



（写真：ZDHCセミナー）

ALL Rights Reserved. Copyright © NICCA CHEMICAL CO.,LTD. 2018

18

それから NICCA イノベーションセンターですね。おととしの11月に竣工いたしましたので、ぜひ皆様、こちらのほうにお越しただけたらと思うのですが。なかなかこれ、口で言ってもこの雰囲気伝わらないんですけども、現在までで来訪者が8,700名を超えたということで。福井のこんな田舎にありながら、もう9,000名近い方々が1年半でお越しただけたということでございます。

オープンイノベーションを促進していこうと、もちろん大手メーカーさんとか商社さんとか、大学、学生、いろんな方々がお越しただきまして、今まで考えられなかったようないろんな協業が行われている、開始されているということでございます。

例えばですけれども ZDHC という、これは世界的な機関なのですが、Zero Discharge of Hazardous Chemicals の略なんですけれども。これは例えばアパレルさん、プーマとかナイキだとかアディダスだとか、ユニクロだとか H&M とか ZARA とか、そういったところがこの機関に加盟いたしております。こういったところに賛同する企業の薬剤を使っていたきたいという、そういった機関でございます。

ここが初めて日本でセミナーを行ったのですが、当社の日華イノベーションセンターで、これはお客様とかコンペティターとか、いろんな方がざわざと、こういう感じでいらっしゃいましたということでございます。

イノベーションセンターですけど、そういった出会いの場であったり、それから技術交流の場であったり、それからお客様も、あるいは原料メーカーさんも、それからマーケットとかクリエイタ

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

の皆様もどんどん、ワイワイ、ガヤガヤやりながら、新たな技術とかトレンドをつくっていきましょう。そんな会話ができるような、そういう研究所をぜひ目指していきたいと思っております。

今年3月には2018年度の日本建築大賞を受賞いたしました。これは建物もそうなのでございますけれども、やはり今申し上げたようなコンセプトですね。建物のコンセプトが非常に面白いと。さらにつくる段階で若手研究員40人をアポイントしまして、その人間がこんな研究所で働きたい、こんな働き方に変えていきたいという議論を繰り返して、それを設計に反映してできたビルでございますので。そういったコンセプトとか設計の仕方が面白いということで、賞をいただきました。

我々、ビルがいくら有名になっても業績が良くならなきゃいかんわけでありまして、必ずや例えば3年後、5年後に新たなものがここから出てくるという種が今、どんどん出てきている状況でございます。それからここに訪れた学生はここで研究開発がやってみたい、ここで働きたいという学生も、結構リクルートにも役立っているということでございます。

2019年度上期 トピックス ⑦

7月 インド・バングラデシュでのビジネス加速

- インドの協業先であるResil社とトップミーティング実施。
インドでの事業展開を更に加速。



- 7月20日 繊維・縫製産業の成長著しい
バングラデシュ・ダッカで技術セミナーを開催。
日系商社のみならず、現地の縫製工場関係者など
合計200名以上が来場。



それから先ほどバングラデシュの話を一瞬としましたが、インド、バングラデシュですね。ここは今後も伸びていくということでございます。

インドにつきましては協業先とインドの成長をどう取り組んでいくかと、取り込んでいくかということで今、アライアンスを最終的に検証している段階にきております。

それからバングラデシュにつきましては、7月20日ですけれども、200名を超えるお客様が熱気むんむんでございます。日華化学の技術に関してものすごくご興味をいただいております、やは

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

り我々は78年間の、繊維加工の歴史と技術の蓄積がございます。ということで、お客様からの評判も非常に良かったということでございます。

中間配当、期末配当とも予定に変更はありません

2019年12月期 配当予定

1株当たり

□ 中間配当 8円

□ 期末配当 8円

(年間配当 16円)

配当でございますけれども、変わらずの8円、8円ということでございます。

業績予想前後比較 (連結)

(百万円)	修正前	修正後	増減額	増減率
売上高	50,000	48,000	△2,000	△4.0%
営業利益	1,600	1,600	+0	+0.0%
経常利益	1,600	1,600	+0	+0.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000	1,000	+0	+0.0%

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

業績予想ですが、これは当初は 500 億円の売上高、利益は変わっておりませんが、を 480 億円に落とさせていただきました。

通期業績予想 下方修正要因

売上20億円減 主要因

下期為替レート107円設定による減収

<化学品> 15億円減

- ・中国子会社/米中貿易摩擦による中国市況減速さらに悪化
- ・暖冬影響が見込み以上

<化粧品> 5億円減

- ・韓国等、海外販売見通し減

セグメント利益率上昇 主要因

・第2四半累計でのセグメント利益率実績値

・各種費用計画の見直しによるコスト減 これらを踏まえ再考

内訳はこうなっております。約 20 億円下げた理由ですけれども、一つはこれではまだ間に合わな
いかもかもしれませんが、為替レートですね。

今日 106 円ですかね。これは為替レートがどうなるのかは、我々も分かりません。ここにいらっ
しゃる皆様に教えていただきたいと思っておりますけれども、一応 107 円で設定しました。これ
による減収。

化学品につきましては中国子会社等々、それから暖冬の影響が今後も出てくるだろうということで
15 億円。

化粧品につきましては、先ほど言いました韓国の見通し減ですね。それから先ほどの大手委託品で
すね。これにつきましては既に減少を見込んでおりましたので、そこにつきましては変わらないと
いうことをございます。セグメントの利益率につきましては若干上昇いたしております。

ということで 20 億円の売上減ということをございます。昨年、ようやく 500 億円を達成いたしま
したが、今年 480 億円ということで若干マイナスになりますが、ただしこの影響につきましては
2020 年には大きくオーバーカムできると思っております。

以上、私から半期の結果、それから今後の見通しにつきましてご説明させていただきました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

今の結果はこういうかたちで減収減益でございますけれども、我々の勢いは全く衰えていることありませんし、またこれによってコストダウンしようなんていうことも今は考えておりません。むしろアクセルをきっちり踏んで、この2025年という長期ビジョンに向けたいろんな仕掛け、これをこの2019年は徹底的にやっつけていこうと。

コストがある意味かかってもいいと、減収減益も2019年はやむを得ないという予測を今回、立てさせていただきました。この成長期に向けて、改変期の最終年度になりますので、ここできっちりとギアを入れ替えて、2020年につなげていきたいと。そういう年にしたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたしまして、私の発表に代えさせていただきます。

どうも今日はありがとうございました。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

質疑応答

司会：ありがとうございました。それでは質疑応答に入らせていただきます。ご質問される方は挙手をお願いいたします。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開する予定です。したがって質問される際、会社名、氏名を名乗っていただいた場合はそのまま公開されます。もし匿名を希望される場合は、氏名は省略していただいても結構です。

それでは、どうぞよろしくをお願いいたします。では、まず後ろの方から。

質問者：1点だけお願いします。今期の下期のご計画の中で最終ページ、27 ページで化学品が 15 億円の減とお示しいただいているのですが、この中で大智化学の不確定といますか、不安といますか。

日韓の問題がさらに悪化した場合、ここからどのぐらいの影響がある可能性があるのか。あくまで可能性ですが、それのところをご言及いただけませんか。よろしくお願いします。

江守：正確にいきますと、大智化学の製品は半導体をつくる上でインゴットというのをシリコンでつくるんですね。丸い筒をつくりまして、それを 0 点何ミリにカットするんですね。そのカットして丸い、例えば 300 ミリウェハになるんですけども、それをさらにカッティングして半導体になります。

その引き上げた後にワイヤーでスライシングをするという、このフルイドですね。クーラントを大智がつくっております。したがって、この半導体の大もとの中の大もとの原料が大智化学ということになります。

我々が一番懸念しておりますのは、この半導体の大もとの需要が減ることが、大智化学の一番のリスクになります。

今、米中貿易摩擦もそうですけれども、例えば携帯電話の数であったり、あるいは自動車の自動運転あるいは EV の数であったり、そういったものがこれから後半に向けて少し厳しい状況になるんじゃないかと思っております。そういう意味で大智の売上が若干ですけれども、増加ではなくて横ばいを見込んでおります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

しかしちょっと長い目で見ますと、今AIだったり、それからロボティクスであったり自動運転であったり5Gだったり、これは全て半導体がないとやっていけない世界なんです。

ですから日韓の関係が悪化するだとか、米中貿易摩擦がどうだとか、そういった問題で大きな波でいきますと、半導体が減るということは私は全く考えておりません。

それから今、シリコンの半導体が、次のシリコンではない半導体になるのではないかと、SiCになるのではないかとか、いろいろいわれておりますけども。今のところ技術的に汎用性のある半導体は、このシリコンの半導体が今後も、ここどうでしょうか、10数年間は必ずこのシリコンの半導体が主役を占めるのではないかと考えておりますので。

長々と説明いたしましたけれども、今年につきましては後半若干、今申し上げました影響が残るかもしれませんが、来年以降とか来年の暮れまでには、おそらく反転するだろうと。さらに2021年、2022年にかけては5Gの加速とともに半導体の需要は上がっていく。大智の業績もそれに反応して上がっていくだろうと見込んでおります。

これは多分、半導体の会社の話を聞かれるのが一番いいと思うんですけども。おそらく半導体の皆様も今年は厳しい見方をされておりますが、来年の中盤ぐらいからは好転していくのではないかとこの見方をされている企業が多いと、私は聞いております。

これは逆に皆様の情報源のほうが正しいと思いますので、そちらに委ねたいと思っております。

質問者：それでは御社のご計画の中には、横ばいということで織り込んでいらっしゃるということですね。

江守：はい、そうでございます。長々と失礼いたしました。

質問者：とんでもございません、ありがとうございました。

司会：ありがとうございました。続いてご質問どうぞ。特にならぬようでございます。

会社様からもし何か追加事項ございましたら、いかがですか。

江守：頑張りますので、どうかよろしく願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

司会：以上をもちまして、本日の説明会を終了いたします。どうもありがとうございました。

江守：どうもありがとうございました。

[了]

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com